



【学校教育目標】

よく考え 進んで発表する子
やさしい心で 助け合う子
責任を持って 最後までがんばる子
命を大切に 体を強くきたえる子



江別市立中央小学校
学校だより 特別号
令和7年9月5日発行

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果

4月に6年生を対象に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果がまとまりましたので、その概要をお知らせします（個人の結果については配付済みです）。学校といたしましては、今後、本調査の教科並びに児童質問紙における調査結果から見て取れる成果や課題について分析し、学習指導等の改善に向け取り組んでまいります。ご家庭におかれましては、家庭学習の一層の充実や生活リズムの改善に向けご指導いただきますようお願いいたします。

国語

全国の平均正答率と比較して大きく上回る結果でした

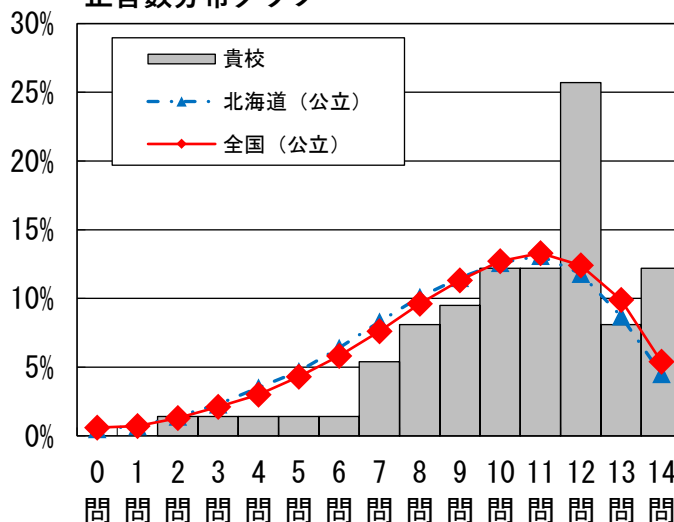
【内容別の正答率】

区分	全道比	全国比
言葉の特徴や使い方	上回っている	上回っている
情報の扱い方	上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	上回っている	上回っている
書くこと	上回っている	上回っている
読むこと	上回っている	上回っている

正答率表記の基準

「上回っている」：+3%以上
「やや上回っている」：+1～+3%未満
「同様である」：±1%未満
「やや下回っている」：-1～-3%未満
「下回っている」：-3%以上

正答数分布グラフ



○正答率の高い問題

- 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる
- 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる

●正答率の低い問題

- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う
- 事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる

正答 1
事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができるかどうか。

問題3ニ(2) C読むこと領域 選択問題

【本村さんのメモ】
言葉の変化について分かったこと
「あたらしい」は新しい形
（奈良時代）（平安時代）
あたらしい ↓ あたらしい
（室町時代）（大正時代より前）
どれ ↓ どうでも ↓ 非常に

（1）「本村さんのメモ」の「ア」の中に入る適切な言葉を「資料2」の中から書きましよう。

（2）「本村さんのメモ」の「イ」に当てはまる内容として最も適切なものを、「資料3」を読み、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

1 時代とともに言葉の意味が変わる。
2 時代とともにものの使い方が変わる。
3 時代によってもものの呼び方が変わる。
4 時代によって言葉の使い方は変わらない。

問題3ニ(2) C読むこと領域 選択問題

あつい日に、水でぬらして首にまくと、すずしく感じます。

正答 暑
（学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうか。）

問題2四イ 漢字について

正答率の低かった問題

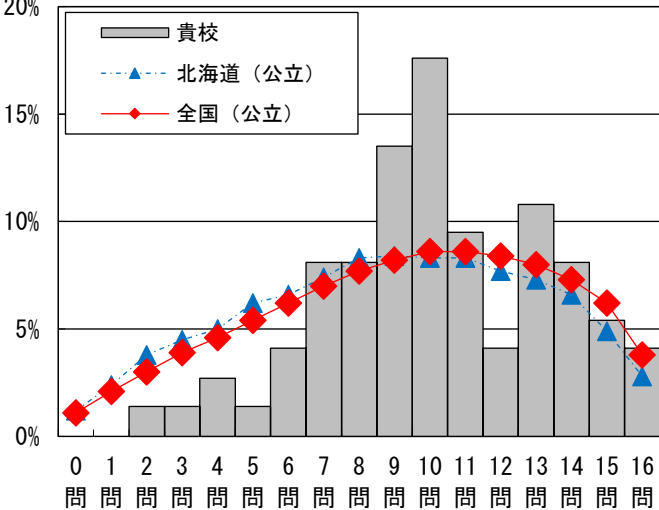
【領域別の正答率】

区分	全道比	全国比
数と計算	上回っている	上回っている
図形	上回っている	上回っている
変化と関係	やや上回っている	同様である
データの活用	上回っている	上回っている

正答率表記の基準

「上回っている」：+3%以上
「やや上回っている」：+1～+3%未満
「同様である」：±1%未満
「やや下回っている」：-1～-3%未満
「下回っている」：-3%以上

正答数分布グラフ



○正答率の高い問題

- 二次元表を読み取り、条件にあった項目を選ぶ
- 平行四辺形の性質を基に、コンパスを用いて平行四辺形を作図することができるかどうか
- 台形の性質や意味について理解しているかどうか
- 異分母の分数の加法を計算することができる

●正答率の低い問題

- 基本図形に分割できることのできる図形の面積の求め方、式や言葉を用いて記述できるか
- 分数の加法について共通する単位数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述できるか
- 10%増量の意味を理解し、何倍になっているか

正答率の低かった問題

3（2）分数の問題記述式と

4（4）増量に関する選択問題

A 数と計算・記述式問題

(2) ひろとさんたちは、分数のたし算についても、小数で考えたようにふり返っています。
まず、みおりさんは、 $\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$ についてまとめています。

$\frac{2}{5}$ は $\frac{1}{5}$ の 2 個分、 $\frac{1}{5}$ は $\frac{1}{5}$ の 1 個分です。
 $\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$ の計算は、 $\frac{1}{5}$ をもとにすると、2 + 1 を使って考えることができます。

$\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$ は、もとにする数を $\frac{1}{5}$ にすると、整数のたし算を使って計算することができます。

次に、ひろとさんは、 $\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$ について考えています。

$\frac{3}{4}$ は $\frac{1}{4}$ の 3 個分、 $\frac{2}{3}$ は $\frac{1}{3}$ の 2 個分です。
もとにする数が $\frac{1}{4}$ と $\frac{1}{3}$ でちがうので、同じ数にしたいです。

$\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$ についても、もとにする数を同じ数にして考えることができます。
もとにする数を同じ数にするとき、その数は何になりますか。その数を書きましょう。また、 $\frac{3}{4}$ はその数の何個分、 $\frac{2}{3}$ はその数の何個分ですか。数や言葉を使って書きましょう。

3（2）正答例

(2) $\frac{3}{4}$ と $\frac{2}{3}$ のもとにする数を同じ数にするとき、その数は $\frac{1}{12}$ になります。 $\frac{3}{4}$ は $\frac{1}{12}$ の 9 個分、 $\frac{2}{3}$ は $\frac{1}{12}$ の 8 個分です。

C 変化と関係・選択式問題

(4) 家に帰ったあさひさんは、つめかえ用のハンドソープがのっている広告を見ました。
広告には、つめかえ用のハンドソープが「10%増量」と書かれています。
増量前のつめかえ用のハンドソープの量は 800 mL です。



増量後のハンドソープの量は、増量前のハンドソープの量の何倍ですか。
上の②にあてはまる数を、下の 1 から 4 までの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 0.1
- 2 1.1
- 3 10
- 4 110

① (1) 正答 2
（「10%増量」について、「増量前の量」を 100%と捉え、「増量後の量」が 110%となることを理解しており、「増量前の量」を 1 とすると「増量後の量」が 1.1 に当たることを 1.1 倍と表現できている。）

【領域別の正答率】

区分	全道比	全国比
エネルギー	上回っている	上回っている
粒子	上回っている	上回っている
生命	上回っている	上回っている
地球	上回っている	上回っている

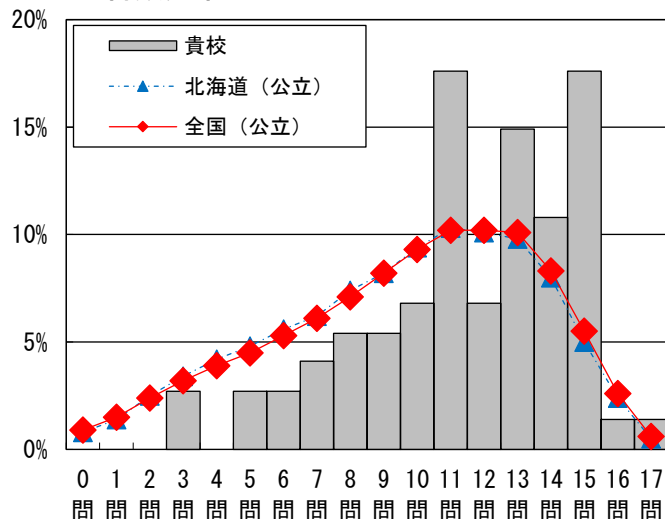
正答率表記の基準

「上回っている」 : + 3 % 以上
「やや上回っている」 : + 1 ~ + 3 % 未満
「同様である」 : ± 1 % 未満
「やや下回っている」 : - 1 ~ - 3 % 未満
「下回っている」 : - 3 % 以上

○正答率の高い問題

- 赤玉土の粒の大きさによる水の染み込み方の違いについて実験の方法を発想し、表現することができる。
- レタスの種子の発芽条件について差異点や共通点を基に問題解決の方法を表現できる。
- 水の温まり方について問題に対するまとめを導き出す時に実験の方法が適切に表現できる。

正答数分布グラフ



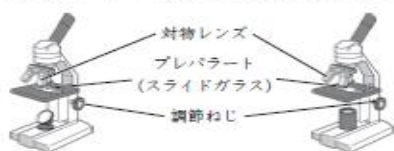
●正答率の低い問題

- 乾電池のつなぎ方について直列つなぎに関する知識が身についているかどうか。
- 顕微鏡を操作して適切な像にするための技能が身についているかどうか。
- 氷がとけてできた水が海に流れていくことの根拠について概念的に理解しているかどうか。

正答率の低かった問題 3 (2) と 4 (3) キ 選択問題

B 区分 「生命」領域 顕微鏡の使い方 選択式

てるみさんたちは、ヘチマの花粉をけんぴ鏡で観察することにしました。



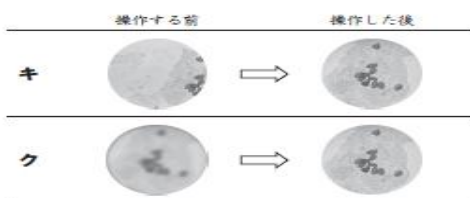
けんぴ鐘を操作すると、観察する物の見え方が変わるね。

B 区分 「地球」領域 地球温暖化 選択式

ひろみさんとゆういちさんは、気温に関するニュースを知り、
話しています。

日本の1年間の平均気温が、過去100年間で約1℃高くなったことをニュースで知りました。

(2) けんぴ鏡を操作したとき、キとクのように、操作する前と後で見え方が変化しました。キとクはどのような操作をしたのか、下の 1 から 4 の中からそれぞれ 1 つ選んで、その番号を書きましよう。



- 1 対物レンズをちがう倍率のものにした
- 2 プレパラートを動かした
- 3 明るさを調節した
- 4 調節ねじを回した

「気温が高くなって起こったと考えられること」について、ひろみさんと思い出したり考えたりしたことを、「学習したこと」や「学習したことをもとに考えたこと」に分け、まとめました。

4 (3)
 正答
 キ 2
 ク 4

理科学習まとめ

気温が高くなって起こったと考えられること

写真

オホーツク海の氷

習したことを

学習したこと

水は、冷えると
0℃で氷に変わる

もとに考えたこ

→ 陸にある雪や氷

気温が高くなって起こったと考えられること

日本の海面水位（海水の平均の高さ）が
2006 年から 2018 年の間で
1 年あたり 3.4 mm の割合で
上昇した

学習したことを
もとに考えたこと

(c)

学習したことを

(5)

水は、溜まると

4 (3) ≠
正答 3

(3) 図の(カ)から(ク)の中には「学習したこと」や「学習したことをもとに考えたこと」が入ります。(カ)から(ク)の中にあてはまるものを、右の 1 から 4 の中からそれぞれ 1 つずつ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 海水は、温まると水と同じように体積が増える
- 2 海の水は、平均気温が高くなるとできにくくなる
- 3 水は、高い場所から低い場所へと流れる
- 4 水は、氷になるとき体積が増える

児童質問紙から見受けられる傾向

「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した割合

- ・ 毎日朝食を食べる

全国比 +0.1%

- ・ 毎日、同じくらいの時刻に起きている

全国比 +0.5%

- ・ 平日、1時間以上、家庭学習をしている

全国比 +6.1%

- ・ 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている

全国比 +5.6%

- ・ 読書は好きですか

全国比 +4.9%

- ・ 話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気付いたりすることができる

全国比 +3.7%

- ・ これまで本校の課題であった朝食の習慣や適切な起床時刻、読書が好きなどと回答する児童の割合について大幅な上昇がみられた。

- ・ 平日の家庭学習の習慣化が図られている。（6年生は70分以上が目標）

- ・ 他の質問でも学習が楽しい（+0.1%）と回答する児童の割合が高いなど、安心した学校生活を送れている事がわかる。

- ・ 対話的な学習形態がしっかりと身についてきている。

- ・ 将来の夢や目標がある

全国比 -12.7%

- ・ 学校が休みの日、1時間以上、勉強をしている

全国比 -6.9%

- ・ 地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがある

全国比 -19.3%

- ・ 将来の夢について「ある」とはっきり答える児童が全国に比べ、かなり少ない傾向にあることがわかった。

- ・ 休日（土日）の学習時間が、平日に比べ少ない。

- ・ 「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思うか」の質問では約90%の児童が「はい」と答えた。

中央小学校の今後の取組

中央小学校では、全国学力・学習状況調査の結果をはじめ、日常の学習や生活から見て取れる課題について全教職員で共有し、改善に向け取組を進めます。また、中央中学校区で目指す子ども像「夢（目標）を持ち、粘り強くたくましく、学びあい高めあう子どもたち」のもと、中学校区で連携した教育を進めます。

◆授業での「対話」を一層充実させ、学ぶ楽しさと、より深い学びの実現に向けた授業改革に取り組みます。

- ①伝え合う力（対話力）の向上と協働的な学びの充実
- ②ICTの有効活用等による、個別最適な学びと協働的な学びの実現
- ③習熟度別・少人数指導による、個に応じたきめ細かな指導の充実
- ⑤家庭学習の質と量の充実を図る取組の推進（学習内容の定着と児童同士の高め合い）
- ⑥将来を見据えたキャリア教育のより一層の充実

◆家庭と連携し、よりよい生活・学習習慣の向上に努めます。

- ①生活規律・学習規律の徹底
- ②生活リズムチェック等を活用した生活指導の取組と家庭への情報提供
- ③二者懇談等の機会を活用した家庭との情報共有と連携した指導

☆間もなく、前期のあゆみ（通知表）を渡します。ご家庭でも、お子さんの学習状況を把握し、家庭学習等へのご指導をお願いします。